

マーケットの動き（2024年9月9日～9月13日）

先週の国内株式市場は、前週末比でTOPIXが下落した一方、日経平均株価は上昇しました。

週半ばまでは米ハイテク株安や円相場が一時1米ドル＝140円台まで上昇したことで輸出関連株をはじめとする幅広い銘柄が売られ、株価は下落しました。その後、米国半導体大手CEOの発言や11日発表の米国コアCPI（消費者物価指数）が市場予想を上回り円相場が下落すると、半導体関連株や輸出関連株が買われ、株価は上昇しました。

投資環境見通し（2024年9月）

国内株式相場は次第に下値を切り上げる展開

企業業績については、堅調な設備投資や実質賃金がプラスに転じたことを受けた個人消費の回復を背景に、改善傾向が続くとみています。国内株式相場は、日米政局を巡る先行き不透明感が当面の重しになるとみられます。しかし、個人消費の回復を背景とした内需の底堅さは企業業績の上方修正につながるとみられることから、次第に下値を切り上げる展開になるとみています。

	9月13日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,571.14	▲1.01%	0.69%	▲2.92%	8.09%
日経平均株価	36,581.76	0.52%	0.96%	▲5.46%	11.85%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202409_outlook.pdf

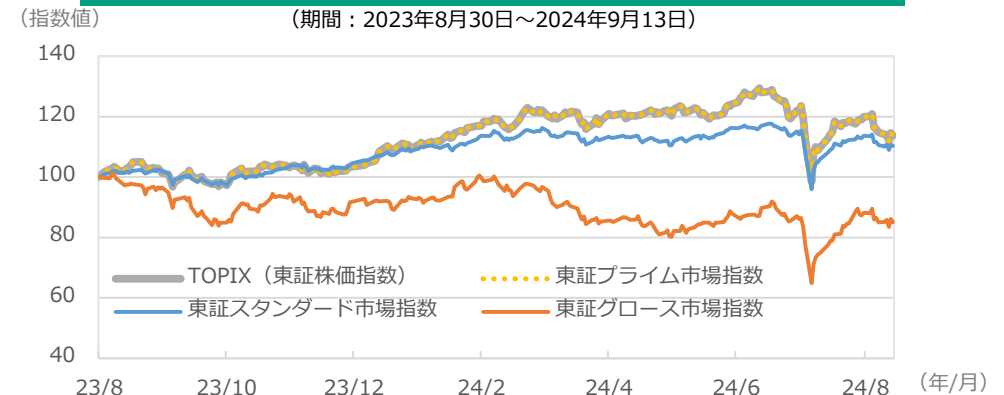
日経平均株価、TOPIXの推移

（期間：2023年8月30日～2024年9月13日）



東証市場別指数の推移

（期間：2023年8月30日～2024年9月13日）



※2023年8月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>